

西部ごみ処理センター その2 「コークス使用のシャフト炉だけは止めて!」

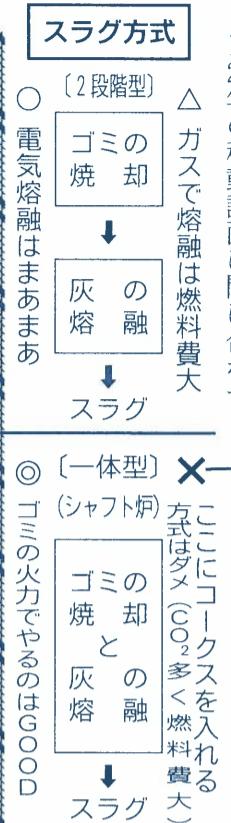
組合では、処理方式選定で最も力だった、焼却した灰を、セメント工場に処理料を払って引き取つてもらう、「セメント原料化システム」が、見直されている事は、前回記した。

また、各地で最近、セメント方式が多く採用されている理由は、①灰の処分場用地がなく、施設整備を進める為の選択。②プラント業者が、入札にあたり焼却と溶融の一体方式を選択されると、多くの業者が参加できないので、共同してセメント方式の利点をPRしている為。

一方、武雄市の参加する、西部環境組合の伊万里市の松浦地区の予定地は、処分用地もあり、セメント工場の引き取り停止等のリスクを考えると、セメント原料化方は選択しないが良いとこれまで、私は言って来た。

H27年の稼動計画に間に合わせたので、何でも同時に入れられるメ

リットもあるが、石炭系のCO₂が多量に発生する事や、コークスの料金相場の変動リスクもあり、この方式だけは選択しないでもらいたいと願っている。



市民病院移譲と本当の目的は?

私は最近病院問題については余り記述しなかったが、動向については注視していた。ある県議の後援会報が、配付されて来た。後援会活動は知事選告示前の3月23日までしかできないので選挙違反であるのだが、それは別として、その中に、市長の発言があり、私の主張する市民病院移譲で約10億円損をしたとの指摘は、間違いの様に記されていました。

そこで指摘されて、反論しないと、

私は最近病院問題については余り記述しなかったが、動向については注視していた。ある県議の後援会報が、配付されて来た。後援会活動は知事選告示前の3月23日までしかできないので選挙違反であるのだが、それは別として、その中に、市長の発言があり、私の主張する市民病院移譲で約10億円損をしたとの指摘は、間違いの様に記されていました。

私が嘘つきになるので再度その考え方を明らかにします。

まず、当時内部留保金を4億円保有していました。次に市は病院を作る時に7億円を出資金として出し帳簿にもありました。その11億円は全てなくなりました。

また、約3億円の医師・看護師の退職金は、これまで病院会計から出したのが、廃院になり一般会計から出すことになり、市長が大変と言ふ裁判費用どころの話で

あります。また、多くの人がご存知のように、方式選定が必要との見方もあり、いつも決まりで近かと思われる。私が思うに、もうセメント方式選択されないとと思う。

次の選択は、灰を溶かして石状にする、スラグ方式となるが、これも2種類があり、焼却と溶融の2段階でやる方法と、一体型があり、私は、どちらでも良いと思う。

ただその中で、1つだけ良くないと思うのが、コークス利用シャフト炉(たて型炉)方式で、これは、ゴミを投入する前に石灰の一種であるコークス燃料を燃やした所に入れる製鉄所の技術を利用したもので、何でも同時に入れられるメ

リットもあるが、石炭系のCO₂が多量に発生する事や、コークスの料金相場の変動リスクもあり、この方式だけは選択しないでもらいたいと願っている。

私は、病院の公募は翌年のH20年5~6月であり、半年も前に造成に使えば良かったはずで、やはり新病院すぐ横の下水道処理場造成に使えば良かつたはずで、やはり説明に納得いかない。

一方、新武雄病院の医療の面でいえば、市長の言う、1年365日、24時間重傷から軽症まで、自分の車でウォーキングと、新武雄病院がすべてまかなう様な説明をされ

て来た。しかし、新年度の予算には、武雄杵島医師会と鹿島藤津医師会が県の意向に協力して、休日や時間の拡大に対する為の補助金があがっていた。市長の言うように、新武雄病院が3~5日、24時間受診ができるなら、二重になるのではなくと聞くと、新武雄病院は、小児科の予定はないとの事。

それなら、元に帰り、市が10年前に、国立武雄病院を市民病院に引き継いだ最大の理由は、子供の夜間の病気に対応する為だった。

その時の私の質問に、小児科専門医が毎日おけないが、小児に対応できる。内科・外科の2人を夜間置くとの説明もあっていました。

だから、私から言えば、新武雄病院は、武雄市民病院の許可ベットの権利は引き継いでいるが、本来の目的は引き継いでいない。

もう一つ気が付いたのが、新病院建設現場前に掲げられていた工事

はありません。

今でも市から新武雄病院への手厚い支援が続いている。たとえば、急に下水道区域を変更して整備区域内に入れたり、周辺道路を同時に何

本も改修するなど、異例の対応。

また、新武雄工業団地は、造成土は外部に出さないとの計画だった

が、新武雄病院の敷地造成の為に、土代はおろか、運送費まで市が負担している。市は乗入れ口の残土が、予想外に出たとの話だが、それな

り説明に納得いかない。

一方、新武雄病院の医療の面でいえば、市長の言う、1年365日、24時間重傷から軽症まで、自分の車でウォーキングと、新武雄病院がすべてまかなう様な説明をされ

て来た。しかし、新年度の予算には、武雄杵島医師会と鹿島藤津医師会が県の意向に協力して、休日や時間の拡大に対する為の補助金があがっていた。市長の言うように、新武雄病院が3~5日、24時間受

診ができるなら、二重になるのではなくと聞くと、新武雄病院は、小児科の予定はないとの事。

それなら、元に帰り、市が10年前に、国立武雄病院を市民病院に

引き継いだ最大の理由は、子供の夜間の病気に対応する為だった。

その時の私の質問に、小児科専門医が毎日おけないが、小児に対応

それは、何かと言うと、市長が議会が、専門家や関係者と話し合

いをするよう答申していた時のこと。武雄市に縁があり、年末年始の里帰りを福岡市からしていたひとが、私が思うに、もうセメント方式選択されないとと思う。

私が思うに、もうセメント方式選択されないとと思う。

私は、病院の公募は翌年のH20年5~6月であり、半年も前に造成に使えば良かつたはずで、やはり説明に納得いかない。

一方、新武雄病院の医療の面でいえば、市長の言う、1年365日、24時間重傷から軽症まで、自分の車でウォーキングと、新武雄病院がすべてまかなう様な説明をされ

て来た。しかし、新年度の予算には、武雄杵島医師会と鹿島藤津医師会が県の意向に協力して、休日や時間の拡大に対する為の補助金があがっていた。市長の言うように、新武雄病院が3~5日、24時間受

診ができるなら、二重になるのではなくと聞くと、新武雄病院は、小児科の予定はないとの事。

それなら、元に帰り、市が10年前に、国立武雄病院を市民病院に

引き継いだ最大の理由は、子供の夜間の病気に対応する為だった。

その時の私の質問に、小児科専門医が毎日おけないが、小児に対応

かと改めて思う。

また私は、市民病院の入札前の現地説明の日、病院前でどんな医療機関が来るのか見ていた時、偶然、池友会の鶴崎理事長に合ったが、私が武雄の市議だと言つて挨拶をすると、開口一番、「○○県議には大変お世話になっています。」といきなり言われ、まだ、初の現地内覧日であり、もう世話になつていると

の発言にびっくり。

一方、昨年市長の発刊した、首長パンチの中には、池友会の実質的

なオーナーである、蒲地氏との会食話が書いてあるそうで、そこには、最初に新病院の予定地とされた競

争が、配付されて来た。後援会活動は知事選告示前の3月23日までしかできないので選挙違反であるのだが、それは別として、その中に、市長の発言があり、私の主張する市民病院移譲で約10億円損をしたとの指摘は、間違いの様に記されていました。

そこで指摘されて、反論しないと、

私は最近病院問題については余り記述しなかったが、動向については注視していた。ある県議の後援会報が、配付されて来た。後援会活動は知事選告示前の3月23日までしかできないので選挙違反であるのだが、それは別として、その中に、市長の発言があり、私の主張する市民病院移譲で約10億円損をしたとの指摘は、間違いの様に記されていました。

そこで指摘されて、反論しないと、